

カラダ × ココロ + 信頼 = 健康スポーツ指導者



からだところの
健康づくりを通して
子供からシニアまで
生涯にわたって
幸福を求めていく
健康スポーツ指導者に



ありがとうのプロフェッショナルへ。

兵庫大学

健康科学部
健康システム学科

Department of Health System Management



健康システム学科

健康スポーツ指導のお仕事を
健康システム学科の卒業生から紹介します。

NEWS

1

医療機関で、生活習慣病の運動療法をサポート。



西広島リハビリテーション病院に併設された健康開発センターウィルで、運動指導を行っています。ここでは生活習慣病や整形外科疾患の予防・改善・介護予防等を目的に運動指導を行っています。現在の職場を知るまで、医療福祉の現場における運動指導についてあまり知りませんでした。しかし、大学時代のボランティア活動や授業を通して現在の職場のことや医療福祉における運動指導について知る機会があり、非常に興味がわきました。現場は勉強することに加え、様々な能力が必要であり、大変なこともたくさんありますが、利用者さんの状態が改善し笑顔になる姿をみると大変やりがいのある仕事だと実感しています。

健康システム学科2018年卒
原田 ひかるさん

NEWS

2

民間フィットネスクラブで、健康増進の個別指導。



イトマンスイミングスクールのトレーナーとして、お客様にトレーニング指導やメニュー作成、カウンセリングを行っています。お客様によってスポーツ歴や既往歴、生活習慣が異なるため、個人の特徴にあったメニュー作成、トレーニング指導を行えることが大切になります。現在、スポーツジムを利用し、健康の保持・増進に努めている方がどんどん増えてきています。「運動は健康にいい」という考えが定着してきている証拠だと思います。そのため私は、お客様が生涯を通して自分の足で歩けるためのサポートを担いたいと考えています。

健康システム学科2018年卒 久保田 真生さん

NEWS

3

行政で、地域の健康づくり事業のマネジメント。



加西市役所健康課の職員(運動指導員)として働いています。加西市では歩くまちづくり条例を制定し、健康の視点を取り入れた事業計画を

展開しています。この事業を推進する運動指導員として、運動ポイント事業の企画や運営、特定保健指導における運動指導、地域の公民館で健康づくり講座などを行なっています。地域の皆さんに健康づくりにおける運動の重要性を理解してもらうとともに、運動の楽しさを伝え、自主的に健康づくりが実践できるよう働きかける役割を担っています。

健康システム学科2007年卒 坂口 智康さん

健康スポーツ指導コースの学び



幅広い世代の健康づくりをサポートできる指導者へ

スポーツを通じて0歳から100歳までの健康づくりを手助けできる指導者の養成です。アスリートに向けたパフォーマンスを高めるためのトレーニングメニューの作成や高齢者に対する健康づくりのための運動プログラムの実践まで幅広く適切な健康スポーツ指導の行える専門家を養成しています。

取得を
めざす資格

- 健康運動実践指導者(受験資格)
- 健康運動指導士(受験資格)
- 公認ジュニアスポーツ指導員(受験資格)
- 初級障がい者スポーツ指導員

卒業後の進路

医療機関、民間フィットネスクラブ、行政機関等
一般企業でも健康経営のリーダーとして期待されます